

## 1. 本市の現況

中央市は山梨県の中央南部に位置し、東は鎌田川を挟んで甲府市に、北は JR 身延線、昭和バイパスを境に昭和町に、西は釜無川を挟んで南アルプス市に、南は市川三郷町に接しています。釜無川により形成された沖積平野の地域と御坂山系からなる地域との二つの地理的特性を持っており、両地域は笛吹川によって隔てられています。

平坦部は玉穂、田富の 2 地区が笛吹川と釜無川に挟まれた形で位置しており、豊富は山間部に広がる地域となっています。

交通インフラに目を向けると、市内には 2 つの身延線駅、近郊には中部横断自動車道、中央自動車道のインターチェンジがあり、今後はリニア中央新幹線の新駅が甲府市大津町に整備される予定です。また山梨大学医学部附属病院、大型商業施設があるだけでなく、図書館や保育園も充実しており、とても住みやすい街である一方、農業が盛んでトマトやスイートコーンは県内でも有数の産地となっており、収穫時期になると直売所には県内外から大勢の方が訪れます。

都市空間と田園風景のバランスが取れた市であり、社会・経済・文化・産業・観光、あらゆる面で飛躍的な発展が期待される市です。



(図 1) 市内空撮写真

## 2. 基本計画の目的

この基本計画は、市政運営の基本指針である「第2次中央市長期総合計画・後期基本計画」を上位計画とする観光振興に関する部門計画であり、「基本政策1 賑わいと交流の生まれるまちづくり」の実現に向けた考え方を示すものです。また、本市では都市計画マスタープラン、景観計画、公共交通基本計画など関連計画との調整をしながら、長期総合計画の観光分野における実現に向けた基本方針を定めます。

## 3. 基本計画の期間

基本計画の期間は、令和5年度から令和12年度までの8年間とします。しかしながら、大きな社会情勢の変化や、本市観光を取り巻く環境の急激な変化があった場合については、今後の観光振興のあり方について検討するため、関係者や学識経験者などで構成する策定検討委員会を開催（8年以内）し、その都度見直すこととします。

